

2021年2月18日

横浜ゴムのタイヤ空気圧モニタリングシステム「HiTES4」が UDトラックスの大型トラックに採用

横浜ゴム（株）のトラック・バス用タイヤ空気圧モニタリングシステム（TPMS）「HiTES4（ハイトスフォー）」が2021年1月、純正オプションとしてUDトラックス（株）のフラッグシップ大型トラック「クオン（Quon）」に採用されました。対象は4軸車CG、3軸車CD、2軸トラクターヘッドGKの3モデルの国内向け車両。

「HiTES」はタイヤ内部の空気圧と温度をリアルタイムで確認することが可能で、管理値から外れた際には警報を発するモニタリングシステムです。今回採用された「HiTES4」は2020年9月より販売している第4世代モデルで、異常が検知された際に音と色点滅で伝えるインジケータースマートフォン・タブレットでタイヤ状態を確認できる機能により空気圧の見える化を図りました。また、IoTを活用してタイヤ点検情報などを管理する当社のタイヤマネジメントシステム「T.M.S（ティーエムエス）」と連携させることで、車両から離れた場所からでもタイヤ内部の空気圧と温度や車両の位置をモニターすることができます。

トラック市場では安全性と経済性の面からタイヤの空気圧管理が重要視されており、近年、空気圧管理を簡便かつ正確に行えるTPMSのニーズが高まっています。今回、安全運行を支えるTPMSとしての基本性能はもちろん、輸送事業者を総合的にサポートする「T.M.S」との連携も可能なことから「HiTES4」の採用が決定しました。

横浜ゴムは2003年に初めて「HiTES」および「T.M.S」を日本全国の輸送事業者向けに展開しました。以来、ユーザーニーズに合わせたモデルチェンジやリニューアルを経て、昨年よりクラウドデータベースを使用した「HiTES4」と「T.M.S」の連携サービスを開始。タイヤの空気圧や点検結果、摩耗予測などの情報をドライバーのみならず運行・整備管理者と共有できることで市場より好評を得ています。

UDトラックスは主に国内および新興国向けの大・中・小型トラックの開発・生産・販売を手掛ける自動車メーカー。「Quon」はクラス最高レベルの燃費・環境性能と力強さを両立し、快適な走り、乗員と積荷および周囲の安全性確保などを実現した先駆的次世代トラックです。



「HiTES4」のロゴ



「Quon CD Short cab」

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田
 TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570